



このキャンパスにいる人たちは、今年から全員、大人になりました。これは、とても大きな変化です。なぜならば「大人としてその判断力が信頼できる」とみなされている、ということだからです。たとえば、車を買う、クレジットカードを作るなど、保護者の同意なく契約できるが増えますし、10年パスポートの取得も可能です。ちなみに、飲酒や喫煙は従来通り**カウンセリングルームからひとこと**20歳からなど、変わらないこともあります。自分で決められることが増えるのは、少し自由になった気もしますが、その分、トラブルに巻き込まれるリスクもあがります。そんな時には必ず、誰かに相談する習慣を身につけてください。ご家族や大学の教職員はもちろん、消費者庁や厚生労働省などにさまざまな窓口があります。覚えておいてくださいね。

新2年生の皆さん、助産学専攻科の皆さん、目白聖母キャンパスへようこそ。学生局ウエルネスセンターカウンセリングサービスの分室、目白聖母キャンパスカウンセリングルーム（相談室）です。名称を書くだけで二行になってしまいました。ここでは、「相談室」と呼ばれていて、場所は、一号館一階105号小会議室、健康管理室の向かいです。対面での相談も、Zoomでの相談もできますし、時間の余裕があれば、その場で相談を受けることも可能です。このころのこと、実習のこと、進路のこと、対人関係のことなど、毎年、様々な相談を受けたり、リーフレットを発行したり、皆さんの学生生活を応援しています。「こんなことで」と、遠慮せずにどんどん利用してください。皆さんたちは将来、看護師や助産師、保健師や養護教諭として相談を受ける立場にもなりますし、職業としてだけではなく、これまでも誰かの相談を受けたりしてきていると思います。相談にのるには、マインドだけではなく、スキルも必要です。相談室での体験は、プラスであれマイナスであれ、いつか役に立つかもしれません。いつかのために、というわけではありませんが、自分を振り返り、このころを育てる時間もぜひ、持つてもらいたいと願っています。

## 四、五月のメンタル予報：「改めて初めましての春です」



相談申込に当たり、LOYOLAで在籍確認をしています。引越など連絡先などに変更がある人は、最新の情報に更新しておいてください。

### 4、5月の開室日

4月：8、15、22、29日

5月：13、20、27日

（すべて金曜日です）

## カウンセリング豆知識89

「ところが大人になるということ」人は通常、大人になる前に、たくさんのセラモニーを体験しながら成長してきます。教育機関だけでも、小学校から大学まで、数回の入学式や卒業式もありますし、大学ホームページには、ナーシングコミットメントセラモニーの様子が掲載されていますね。このような体験を通して、節目の感覚を気持ちの上でも育くむ部分もありそうです。

では、ところが成熟するための、明確なセラモニーはあるのでしょうか？

セラモニーではないですが、このころに関連して、発達課題という概念を最初に提唱した教育学者のロ・エ・ハヴィガーストや、心理学者のロ・エ・エリクソンらが知られています。発達課題とは、多くの人に共通する心理社会的な課題のことです。ハヴィガーストは、社会的な要請や身体的な技量の獲得について、エリクソンは自我の発達段階とその課題をより内面的にとらえているという特徴があります。皆さんが今、生きている青年期の課題として、ハヴィガーストは、親からの精神的・経済的な自立や課題解決に必要なスキルの獲得を、エリクソンはアイデンティティの確立を上げています。このころの成熟課題は、通過点ではなく連続線上にある、ということですね。